

# せいきょう連ニュース

岡山県生活協同組合連合会 TEL : 086-230-1315 HP : <http://okayama.kenren-coop.jp/>



鳥城(岡山城) 4.9 撮

## エッセイ 故郷

岡山県生協連 会長理事 安場 靖

### あらためて、2012国際協同組合年(IYC)のこと

国連が決議した2012国際協同組合年が明けて4ヶ月になろうとしています。IYC県実行委員会の取り組みの一つとして、「作文・論文・実践報告」を7月31日を期限に広く県民から募集しています。9月29日(土)には、「協同組合フェスティバル」をコンベックス岡山で開催し、県生協連として「協同組合を学ぶ講演会」も7月28日(土)に行われる予定です。どの取り組みも、その目的は、「社会・経済に対する協同組合の貢献についての認知度の向上」(全国実行委員会)であり、そのためにすべての県民に情報発信することを重視したものです。また、県内の協同組合の相互交流と、そこでの連帯感、価値観を共有することも大切な目的の一つなのだと思います。

さて、今年の1月に確定した「協同組合憲章草案」(IYC全国実行委員会)は、協同組合の基本理念・価値と原則を再確認し、協同組合が社会的役割をはたすことをふまえ、政府の協同組合政策における行動指針をあげました。その中の一つに「協同組合について理解する機会を増やすために、協同組合に関する教育を小学校から学校教育に導入し、大学における協同組合研究の機会を増やす。また、女性、高齢者、障がいのある者、自然災害の被災者たちをはじめ、希望者が協同組合をつくる際には、必要な教育と訓練の機会を確保すること」を求めていました。

生協など協同組合が、「経済を支える企業の一形態としての協同組合」という理解を一步進めて、「人づくり、絆づくり、まちづくり、自然環境保全活動など」公益的役割をもつ協同組合の認知が高まるこころです。

協同組合は、一人ひとりの願いを協同の力で実現する場、社会的・経済的弱者に目を向け、助け合うことができる社会づくりの場として、その未来が期待されています。協同組合に携わる者として、あらためて、2012国際協同組合年の意義を咀嚼しつつ、県民のみなさまの温かいご支援とご参加をお願い申し上げます。

# 交流・懇談

## ●石井 正弘岡山県知事と懇談【2月2日(木) 11時05分～11時35分 岡山県庁 知事室】

県生協連から会長、副会長理事と女性理事3名が出席し、はじめに、生協の概況と会員生協の「東日本大震災支援」などの取り組み状況を報告しました。



主に以下の内容で情報交換し、生協からの協力をお願いしました。

- ①中山間地域をめぐる「高齢化」「買い物困難者」現象に関する実態調査と行政のモデル事業の現状、生協の宅配事業に見られる事例紹介と見守り活動としての課題、移動販売車を含む行政支援の方途等に触れて、協力を要請。
- ②2012国際協同組合年に関して、協同組合の存在意義・役割等の県民へのアピールを強めてほしいこと。また、各種イベントへの県行政のご支援および知事ご自身の出席依頼。

- ③「住民生活に光を注ぐ交付金」を活用した「消費者被害未然防止事業」等「県の助成事業」の継続とご支援。

- ④被災地支援の継続取り組みの一環として、例えば、福島の子どもたちを夏休みの機会に岡山に迎える活動を検討していることなどをお知らせし、協力・支援をお願いしました。知事からは、岡山の「夢づくりプラン」を実現していくためにも、要望を受け止め、県して何ができるか考えたいとの趣旨が述べられました。



## ●くらし安全安心課との定期懇談会【2月2日(木) 13時30分～15時05分 県庁会議室】

県民生活部くらし安全安心課から渡辺 知美課長ほか2人、県生協連より、役員など12名が出席し、会員生協の紹介後、「県への要望事項」に対する回答をいただき、相互の意見交換を行いました。



### 主な内容

- ①「消費者のための新たな訴訟制度」の国会での制定を求めて、2月岡山県議会で意見書を採択する「陳情書」を提出するので、ご協力を要請。
- ②災害対策では、「後方支援体制」が重要で、行政と民間との協力、広域連携が必要。

- ③マイバッグキャンペーンは、7～8割の持参率に向け、業者間の気運を盛り上げ、行政サイドのリーダーシップを飛躍的に発揮することを考えてほしい。

- ④認知症センターの養成は、子ども時代の啓発が大切なので、学校教育にも位置づけてほしい。

- ⑤「買い物困難者」「見守り活動」対応について、中山間地域買い物プロジェクトが発足しているが、「いつごろからどういう内容で稼動するか」などを早めに知らせてほしい。「安否確認」の環境整備やコーディネートの役割を県行政(市町村)としても強めてほしい。

## 中国・四国で第2回目の地方消費者グループ・フォーラムが開催【1月27日(金) 広島:国際会議場】

### テーマ ~ともにつながりあって、助け合う地域社会を!



中国・四国9県の消費者団体24団体62名、消費者庁の福嶋長官、各県行政担当者10自治体13名も参加して、各地域の消費者団体やグループの活動交流の場となりました。

#### 《開催主旨》

安全・安心な消費生活の実現には、消費者・生活者が主役となる社会の実現が必要であり、そのためには、消費生活の「現場」である地域の消費者行政(地方消費者行政)の充実が不可欠です。また、消費生活に関わる問題は、高齢者福祉、障害者福祉、子育て、環境、産業振興、観光など、あらゆる分野に関連し多岐にわたっています。消費者団体をはじめ、地域で多様な分野で活動する地域主体が、「消費者」の観点から取り組むとともに、行政も含め連携を図り、課題に取り組んでいく視点が不可欠です。

地域で活躍する各主体が交流・連携し、共に課題に取り組むための環境整備に向けた「交流の場」として開かれました。

#### 《消費者団体からの活動報告》

消費者庁 福嶋長官

- ①「第1回 地域ケア連携推進フォーラム」

～みんなで安心して暮らせる地域づくりをめざして～  
生活協同組合しまね 副理事長 野津 久美子 氏

- ②「環づくり四国／限界集落から考える地域資源再生プログラム」

～わが町・わが村での地域エリアミーティング活動～  
環四国ネットワーク「四国はひとつ!」運営事務局 代表 島田 公 氏

- ③「行政と連携した中山間集落の見守り活動」

鳥取県生活協同組合 運営本部長 大森 隆 氏

- ④「消費者被害防止は『まちづくり』」

～消費者被害防止ネットワークの形成に向けて～  
NPO法人消費者ネット広島 事務局長 佐藤 第一郎 氏

# 学習・研修

## ●県生協連・会員生協役員研修交流会を開催【1月13日(金) オルガホール】 参加者は講演会に47名】



挨拶される渡辺課長



講演される田井 修司さん



岡山にも震災があった～教訓を活かして…と奥田 節夫さん



講

岡山県県民生活部 くらし安全安心課課長の渡辺 知美さんより挨拶をいただきました。

まず初めに、「日本の生協2020年ビジョン」を読む一社会的責任の視点から一と題して、田井 修司(日本生協連副会長・千葉県生協連会長理事・ちばコープ理事長)さんのご講演。つづいて、講演Ⅱとして、奥田 節夫(京都大学名誉教授)さんから「自然災害の実態とその対策」～岡山の地震と津波災害～と題してお話をいただきました。

## ●組合員活動交流集会【2月1日(水) 10時00分～14時55分 オルガホール】

8会員生協172名の参加のもと、”東日本大震災 被災地からの伝言”をテーマに、岩手県消費者団体連絡協議会事務局長の伊藤 慶子さんと「子ども未来・愛ネットワーク」の大塚 愛さんからお話をいただきました。午後は、岡山県危機管理課の田原昭彦さんと岡山市消防局の藤原文法さんにもご参加いただいて『防災塾』を行いました。

伊藤 慶子さんは、最初の2週間は、被災地を思いやる余裕がない“空白の2週間”だった。重油や軽油が不足し、食料の加工や運搬が滞り、主食の米までも店頭から消えた。牛乳は搾っても殺菌ができず捨てられ、餌が手に入らない養鶏場では鶏が餓死した。

岩手県消団連は「いわて食・農ネット」の事務局として、陸前高田市で食事づくりの支援を続け、いわて生協も食事づくりや炊き出しなどで支援を行った。被災者は、寒冷地仕様でない仮設で、厳しい寒さのなかで耐えている。閉じこもる高齢者が問題になっている。

事業所の再建がすすまず、雇用もない状況。沿岸や近県を、後方で支援するシステム作りが重要だと痛感。今後、東海・東南海・南海地震が予想されている。南海地震では、後方支援としての岡山県の役割は大きいと思う。などと話されました。

大塚さんは岡山県に生まれ、自給自足ができる生活を夢見て、福島県の川内村で大工さんになり大自然の中で、家族4人で幸せに暮らしていた。

しかし、3月11日以降、暮らしは一変。自宅は原発からは約20kmの距離。放射能汚染の心配から、川内村を離れ、会津から実家のある岡山に避難。子どもたちを放射能から守るために、原発なしで暮らせるように、今できることをやっていきたいと思うようになり、「子ども未来・愛ネットワーク」をつくり活動している。避難者との交流会、福島県からの一時保養受け入れも行っている。福島の子どもたちは、外で自由に遊べることが一番うれしい。などと話されました。



大好きなふるさとを離れて…大塚さん



感想を述べられる藤原さん〔左〕と田原さん



避難ルート、避難所はどこ?…みんな真剣

午後の～防災・減災をくらしに活かす!をテーマに行われた『防災塾』は、生々しい映像を交えながら、ファシリテーターの水島 重光さん(日本生協連中央地連大規模災害対策協議会世話人)によって、図上演習が行われました。

15グループの参加者の中には、「地域町内会や生協の班に今日のことを持ち帰りたい」と話される人も…演習の終わりには、田原さんと藤原さんからもコメントをいただきました。

休憩時に、被災地支援や福島第一原発事故による住民生活の様子が上映されました。3万円近い募金も寄せられました。

### 《寄せられた感想80通の中から》

- ・「震災からまだ1年も経っていないのに、西日本の多くの住民にとって、もう人ごとのようになっているようなところもあると感じます。また、まだ支援が必要とされているようなので、今後もしっかり考えていきたい」「後方支援ということばが心に残った」「はなしの中で、生協のネットワークの広さに驚かされた」「被災地の願いとズレた国の政策・実行に怒りを感じる」など。——伊藤さんのお話し
- ・「何十年何百年と続く放射能汚染は、安全と言われた原発の本性が見えたと思う」「話しを聞いて、自分の生活について見直すきっかけになった。」「今回を機に、原発から自然エネルギーを使った発電方法に移行する動きになればいい」など。——大塚さんのお話し
- ・「自助・共助の精神を新たにし、タンスの支え、非常袋を帰って用意します」「家族で話し合いたい」「自分の住んでいる地域で、今日学んだMAPシミュレーションを実施してみたい」等。——防災塾に参加して

# 会員生協

## おかやまコープ 東日本大震災 被災地の生協に「復興支援金」を贈呈しました

3月8日(木)、全国の生協が集う「つながろうCO・OPアクション交流会(日本生協連主催)」が仙台市で開催されたことに合わせて、コープCSネット(中四国の9生協からなる事業連合)から被災地の生協へ、復興支援金1,566万9,762円の贈呈式が行われました。

贈呈式では、コープCSネットの各生協から、今回の支援金の対象である5生協に贈呈され、おかやまコープはみやぎ生協への贈呈を行いました。



支援金を受け取る生協を代表して、みやぎ生協の斎藤理事長からは、「商品の利用を通じての、まさに生協らしい支援に感謝します」とお礼の言葉がありました。

この復興支援金は、宅配ご利用いただいた対象商品1点あたり1円が積み立てられたもので、2011年12月末までに総額1,866万9,762円となりました。このうち300万円は、すでに6つの被災メーカー・生産者の方々に贈られています。

復興支援金の取り組みは、2012年度も4月1回～2013年1月5回までを期間に継続します。

## 倉敷医療生協 3月17日、第27回保健大会を開催

過去最高の300人が参加しました。

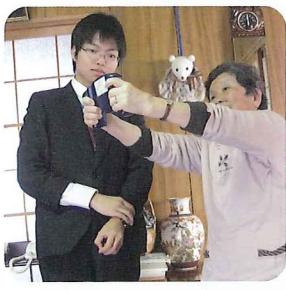
今回のテーマは

「健康の源 食の安全安心～つたえよう未来へ～」。

科学ライターの松永和紀さんの記念講演や5つの分科会で元気いっぱい学びあいました。



講師の松永 和紀さん



新入職員が「班会」体験



4月2日、2012年度の入協式を開催。30人の新入職員が仲間入り。午後からは早速、地域の健康班会を体験しました。



記念講演を聴く会場いっぱいの参加者

## 岡山大学生協 新入生交流会 春はほのぼの交流会2012

毎年恒例の、新入生歓迎企画「春はほのぼの交流会」が岡山大学生協学生委員会C.C.C!主催で開催されました。

内容は、サークル紹介・学部別交流会・岡山大学の紹介などをを行い、新入生の不安を解消し友達作りをサポートしました。

4月4日・5日・6日の3日間で合計1,984名の新入生が参加してくれました。



## 三井造船生協 家庭会運営委員長研修会を行いました



12月16～17日の1泊2日の日程で、高知県安芸郡馬路村の馬路村農協を訪れ、村おこしの変遷や、「ごっくん馬路村」などのヒット商品を生み出した背景などを視察しました。

# トピックス

## 学校生協 南極の氷に触れ環境学ぶ

瀬戸内市立牛窓北小学校で南極教室を行いました。

### 学級通信を抜粋

白い大陸—南極 3月1日、南極教室が行われました。

3校時目は、3・4・5年生を対象に、元越冬隊員の秋元茂様から、南極の環境について話していただきました。その後、全校児童対象に、南極の自然の様子や動物の様子について話していただきました。

南極の氷に触ってみたり、音を聞いたり、かざしてみたり…と、体育館には、児童の笑顔と歓声が満ちあふれました。

南極の動物、ペンギンやアザラシの画像も大喜び。様々に形を変え色を変える光のカーテン、オーロラの映像にも見入っていました。

最後の質問コーナーでは、「オーロラの色が緑や赤なのはなぜですか?」、「南極には何種類の動物がいるのですか?」等が出て、児童の興味・関心の強さや広がりを感じました。

会を閉じた後も、秋元様に話しかけていた児童がいたのも印象的でした。なお、これらの話とともに、最後に、児童に向けて次のメッセージをくださいました。

最初の一歩を踏み出す勇気をもどう

そして 続けよう 夢は、かなうものでなく(自分の力で)かなえるもの。



## グリーンコープ生協おかやま

### 岡山・倉敷地域で地区組合員総会を開催



2012年3月におかやま地域5会場、くらしき地域4会場で地区組合員総会を開催しました。

参加した組合員はそれぞれの地区委員会の活動の様子を聞き、組合員の活動に新たに参加するなど、ますます地域に根付いた活動、運営が進んでいます。

## 津山医療生協

### WHO世界保健デーに健康チェックをしました。



約150人が集まり、特に肌年齢のチェックは大人気でした。



4月8日(日)津山市の鶴山公園で、本来なら桜が満開の公園も今年はまだ咲いていません。けれど観光客も多く健康チェックも大忙し。

## 岡山県労済生協

### 子どもたちに伝えたい防災のこと

防災・減災の意識が地域に根付き、子どもたちにずっと紡がれていくこと。この思いを実現するため、2012年3月4日に「子どもたちに伝えたい防災のこと 2012」を、倉敷みらい公園・アリオ倉敷・三井アウトレットパーク倉敷にて開催しました。



## 岡山医療生協

### 瀬戸内市へ~国保税引き下げを要請



瀬戸内市長に署名用紙を渡す  
岡山医療生協の組合員さん



瀬戸内市長と懇談する組合員さん  
参加者は26人。

岡山市で取り組まれた国保税引き下げ署名。「瀬戸内市でも、やりやあええのになあ!」岡山医療生協邑久支部運営委員会での一言が伝わるや、市内の全支部即決で賛成。「高すぎて払えない国保税を引き下げよう」とあつという間に署名活動がスタートし、5,409筆、市外支部の応援を含めると6,336筆が集まりました。

この署名を市議会に提出し、あわせて瀬戸内市長との懇談も行い、市民の声を行政に届けることができました。

## 公 告

岡山県生活協同組合連合会  
会長理事 安場 靖

## 岡山県生協連第53回通常総会の開催について

岡山県生活協同組合連合会定款第45条に基づいて、岡山県生活協同組合連合会第53回通常総会を下記の通り開催します。

記

1. 開催日時：2012年6月28日（木）10:30～12:30
2. 開催会場：オルガホール（岡山市北区奉還町一丁目7-7）
3. 議題
  - 第1号議案 2011年度事業報告書および決算関係書類承認の件（監査報告含む）
  - 第2号議案 2012年度事業計画および予算決定の件
  - 第3号議案 役員選任（補充）の件  
第53回通常総会 決議採択の件
4. 代議員 総会代議員選出基準にもとづいて、別紙にて会員生協にお知らせします。
5. 役員選任
  - ・定款第19条、第20条に基づき、役員の選任（補充）を行います。
  - ・役員選任規約第3条および第4条に基づき、理事会で決定した選任する役員の数と選任区分（理事区・監事区）および区分内の選出数は以下の通りです。
  - 1) 理事区 14名  
区分内の選出数 会員理事区 9名 全体理事区5名（女性枠3名）
  - 2) 監事区 3名
  - ・候補者の推薦は、会員生協理事会及び当連合会理事会が推薦（役員選任規約第6条）し、役員選任議案の通知は、定款第48条4項により行います。

以上

## NPO法人 消費者ネットおかやまの総会 が開催されます

日 時 2012年6月2日（土） 13時30分～14時30分

場 所 岡山県生涯学習センター 視聴覚室（岡山市北区伊島町3-1-1）

### 総会の参加申込みについて

総会は個人・団体正会員によって構成されます。賛助会員、会員外の方もオブザーバーとして参加できます。

\*会員のみなさまには別紙にてご案内予定\*

**NPO消費者ネットおかやま**は、消費者被害による消費者の「泣き寝入り」や悪質事業者の「やり得」を防ぎ、消費者全体の利益を守るために、設立した特定非営利活動法人です。

**NPO消費者ネットおかやま**では、消費者啓発の一環として、消費者問題の学習会などへの講師派遣も行っています。派遣する講師は当ネット会員の弁護士、司法書士、建築士などです。また、当ネットが講演、講座等をお願いした先生方もご紹介できます。ご相談ください。

会への加入は、どなたでも年会費の納入でできます。

●団体正会員 年会費1口1万円	●個人正会員 年会費1口3千円 [ いずれも ]
団体賛助会員 年会費1口1万円	個人賛助会員 年会費1口千円 [ 1口以上 ]

お問合せ先：NPO法人消費者ネットおかやま事務局

Tel (086)-230-1316 Fax (086)-230-1317

<http://okayama-con.net>



# 消費者月間記念講演会を開催！

開催日時：6月2日（土） 15:00～16:30（開場 14:30）

会 場：岡山県生涯学習センター 視聴覚室（岡山市北区伊島町3-1-1）

テー マ：（仮）「食の安全安心・正確な情報収集と選択」

今、消費者の中で、「放射能」と「食」の関係に関心が高まっています。

メディア等による溢れんばかりの情報のもとで、消費者として、これらにどう立ち向かい、適正な情報を集めるにはどのような努力が必要か、見方や考え方など分かりやすくお話しいただけます。お説明の上、是非ご参加ください。

講 師：まつなが カ キ 松永和紀さん（科学ライター・フーコムネット編集長）

日 程：15:00～ 開会あいさつ

15:05～ 記念講演

16:20～ 質疑

16:25～ 閉会のことば

共 催：岡山県消費者団体連絡協議会・NPO法人消費者ネットおかやま

参 加 費：共催団体の構成員・会員は無料、一般参加は一人600円

\*託児のお申込み（一歳半以上 一人100円）



## 第31回市民団体による

# "岡山県民平和のつどい"

と き 7月7日（土）13:00開会 （12:00開場 15:00閉会）

と こ ろ オルガホール（オルガ地下）岡山市北区奉還町1丁目7-7

原爆パネル展・「すいとん」コーナーなど

参 加 費 前売り券500円（高校生以上） 保育有り 1歳6ヶ月以上のお子様（事前予約一人100円）

\*チケットは、おかやまコープ各店舗・事業所、岡山合唱団、県婦人協議会、医療生協、県生協連などでお求め下さい。

テー マ “Peace Peace Peace” 2012～子どもたちに平和な未来を！

プロ グラム 13:00～ ・オープニング…子どもたち中心の合唱（みみんこ&岡山合唱団も）

・岡山市被爆者会の紹介

・ピーストーク

・「みみんこ」による演舞

14:00～ ライブコンサート（佐々木祐滋さん）



### 佐々木 祐滋

・1970年6月6日生まれ

・福岡県博多区出身のシンガーソングライター。

・広島平和記念公園にある原爆の子の像のモデルである佐々木禎子の甥。

・全国の小中学校や各地の平和イベントに参加。

・禎子の思いを綴った曲『INORI』が2010年7月21日にソニーミュージックレコードよりメジャーデビュー。

同曲を歌う「クミコ」さんは、2010年NHK紅白歌合戦にこの『INORI』で初出場し、ヒットメーカーの仲間入りを果たした。

・合唱 岡山合唱団

フィナーレ～子どもたちに平和な未来を！～

15:00～ 終了

# お知らせ

## 2012国際協同組合年(岡山県内の主な行事)

### ☆作文・論文・実践報告

募集期間 2012年 7月31日(火)まで

コンクール 賞と副賞 県知事賞 5万円(1点) 県会議長賞・実行委員会代表賞・県生協連会長賞等 各3万円  
詳しくは、県生協連ホームページを参照ください。

### ☆講演会

#### (仮)「国際協同組合年を学ぶ」

講 師：栗本 昭さん(公益財団法人 生協総合研究所理事)

開催日時：2012年7月28日(土) 10～12時

会 場：岡山国際交流センター 2F 国際会議場

### ☆協同組合フェスティバル

開催日時：2012年9月29日(土) 10時～14時30分

会 場：コンベックス岡山(大展示場・中展示場)

岡山県内の主な協同組合(生活協同組合・JAグループ・漁業協同組合・森林組合など)が一堂に集まって、各種展示・物販、健康保健チェック、なんでも相談会、お楽しみ企画、スポーツ教室などが行われるビッグイベントです。  
企画づくりにご参加いただくとともに、今から9月29日(土)を日程にご予定ください。

お問い合わせ：岡山県生協連 Tel086-230-1315 Fax086-230-1317



### 2012年度第1回体験プログラム・海辺の生き物観察会

## 『ウミボタル夜間観察会』

～青く神秘的な色で発光するウミボタル きれいな海辺環境を示す生物の一つです～

### 目的

自然にふれ、楽しみながら環境のことを考えるきっかけをつくることを目的に開催します。

現地での体験を通じ、いきもののいのちの大切さ、自然環境のすばらしさを実感し、自然の役割や海の現状など、くらしと自然環境の密接な関わりを理解し、普段のくらしのあり方を見直すことにつなげます。

### 開催要項

日 程：7月15日(日) 18:00 オルガ出発  
19:00～21:00 現地 観察会  
21:00 現地出発

場 所：倉敷市大浜海岸(鷺羽山下電ホテル前)

参加費：1人500円(年齢関係無) ※夕食は各自持参

申 込：6月29日(金)までに(財)おかやま環境ネットワークへ

主 催：(財)おかやま環境ネットワーク、生協おかやまコープ、  
岡山県消団連、岡山県生協連合会

協 力：岡山野生生物調査会



### 会員生協の総代会開催日程と会場

生協名	回数	選任	開催日	時 間	会 場
本花滝生協	第63回		5/13日	9:30～11:30	花滝コミュニティ集会所
岡山大学生協	第18回	有	5/23水	18:00～20:00	一般教育棟E-11
グリーンコープおかやま	第10期	有	6/8金	10:00～12:00	岡山国際交流センター
三井造船生協	第62期	有	6/10日	9:30～12:00	玉野市奥玉 すこやかセンター
おかやまコープ	第56期		6/12火	10:00～12:00	岡山コンベンションセンター3F
倉敷医療生協	第58回	有(補)	6/17日	10:30～14:00	倉敷アイビースクエア
岡山医療生協	第65回		6/21木	13:00～17:00	岡山コンベンションセンター3F
津山医療生協	第34回		6/23土	14:00～17:00	津山総合福祉会館 4F
岡山県学校生協	第64期	有(補)	6/29金	14:00～15:30	おかやま西川原プラザ
岡山県労済生協	第55回		7/30月	13:00～	ホテルグランヴィア岡山
セイレイ工業	第48回		8/		セイレイ工業会議室